

英国ノーリッチ市は、なぜヨーロッパを代表する宗教都市となったのか？

英国の宗教都市 ノーリッチ

著者：田巻 敦子、田巻 繁

仕様：A5判・並製・印刷版モノクロ/電子版一部カラー・
本文182頁

印刷版・電子版価格：2,600円（税抜）

ISBN（カバー付き単行本）978-4-7649-0748-5 C3016

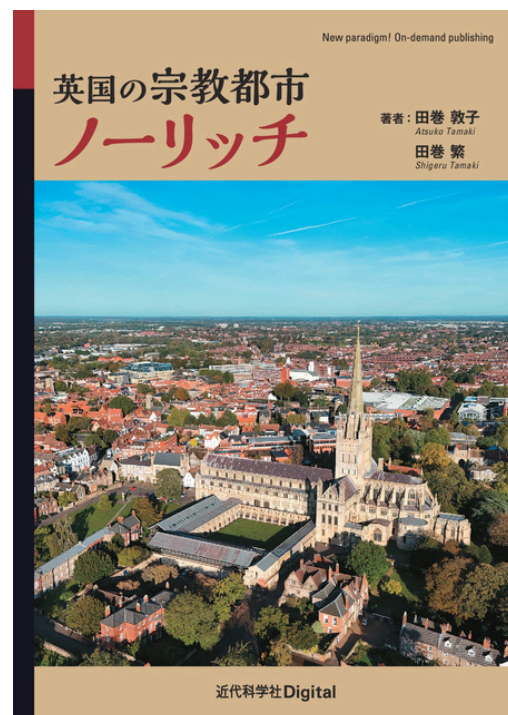
ISBN（POD）978-4-7649-6110-4 C3016

発行：近代科学社 Digital

発売：近代科学社

内容紹介

英国ノーフォーク州ノーリッチ市には、ヨーロッパの中でも抜きん出て教会が多いという特色があります。本書は、1970年代を中心に同市に11回、合計5年余り滞在した筆者らが、古代から中世を経て近年に至るまでの英国ならびにノーリッチ市の歴史をたどりつつ、同市が多数の教会を抱えることとなった理由を解説します。巻末には、中世のノーフォークやノーリッチにおけるキリスト教信仰についての専門的な論文3本を掲載しました。



近代科学社 Digital

<https://www.kindaikagaku.co.jp/kdd/>

近代科学社Digitalは、株式会社近代科学社が推進する21世紀型の理工系出版レーベルです。デジタルパワーを積極活用することで、オンデマンド型のスピーディで持続可能な出版モデルを提案します。

全国の書店・ネット書店にてお求めいただけます。お取り扱い店は以下のウェブページをご覧ください。

https://www.kindaikagaku.co.jp/book_list/detail/9784764961104/



お問い合わせ先

株式会社近代科学社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-105

神保町三井ビルディング

電子メール: contact@kindaikagaku.co.jp

目次

.....

はじめに

第1章 先史時代からアングロ・サクソンの衰退まで

- 1.1 先史時代のノーフォーク
- 1.2 初期のローマ化およびアングロ・サクソン人の侵入
- 1.3 イースト・アングリア王国とノーリッチ
- 1.4 アングロ・サクソン・カトリック教会
- 参考文献

第2章 ノルマン征服以降の中世

- 2.1 ノルマン征服
- 2.2 中世のノーフォーク州
- 2.3 中世のノーリッチ
- 2.4 中世から現代まで続くヨーロッパの人々の巡礼
- 参考文献

第3章 近世イングランド史とノーリッチ

- 3.1 ヘンリー8世の宗教改革
- 3.2 プロテスタントの誕生
- 3.3 エリザベス王朝
- 3.4 内乱の時代から名誉革命へ
- 3.5 近世のノーリッチ
- 参考文献

第4章 近代・現代のノーリッチ

- 4.1 19~20世紀のノーリッチ
- 4.2 第一次・第二次世界大戦下のノーリッチ
- 4.3 イースト・アングリア大学
- 参考文献

付録A ノルマン系諸侯ロジャー・ビゴットの所領形成の一側面

はじめに

- 1章 問題の所在 論点と対象の限定
- 2章 ノルマン系諸侯によるノーフォークにおける侵奪
- 3章 ロジャー・ビゴットの侵奪と地下資源
- 4章 ロジャー・ビゴットの所領形成と侵奪
- おわりに
- 注

付録B 11・12世紀イングランドにおける告解制度

はじめに

- 第1章 ハーバート・ロジングアの司教区改革の目的
- 第2章 ローマ教皇庁と告解制度
- 第3章 ハーバート・ロジングアの司教区改革の神学的論拠
- 第4章 司教区改革の実施
- おわりに
- 註

付録C 13・14世紀、告解制度下におけるノーリッチ市民による修道院創建

はじめに

- 第1章 中世ノーリッチについて地誌学的考察
- 第2章 ノーリッチ司教ハーバート・ロジングアの司教区改革運動の伝統
- 第3章 第四ラテラノ公会議後のノーリッチにおける告解制度
- 第4章 富裕商人層によるホスピタルの創建
- 第5章 職人・手工業者層と托鉢修道会の進出
- 結び
- 注
- 著者紹介

著者紹介

.....

田巻 敦子（たまき あつこ）

2009年3月 新潟大学大学院現代社会文化研究科修了、博士(学術)
2009年4月～2012年3月 新潟大学大学院現代社会文化研究科 博士研究員
これまで研究発表のため所属していた学会：
中世英文学談話会、キリスト教史学会、日本中世英語英文学会、チョーサー研究会

田巻 繁（たまき しげる）

1956年 新潟大学理学部化学科 卒業
1959年 東北大学大学院理学研究科修士課程物理学専攻 中退
同年 東北大学金属材料研究所 助手
1968年 新潟大学理学部物理学科 助教授
1969年 理学博士（東北大学）
1970年9月から2年間 英国イーストアングリア大学 上級客員研究員
1977年 新潟大学理学部 教授
1977年12月から1年間 英国イーストアングリア大学 客員教授
1998年 新潟大学停年退職 新潟大学名誉教授
2019年 瑞宝中綬章 受章